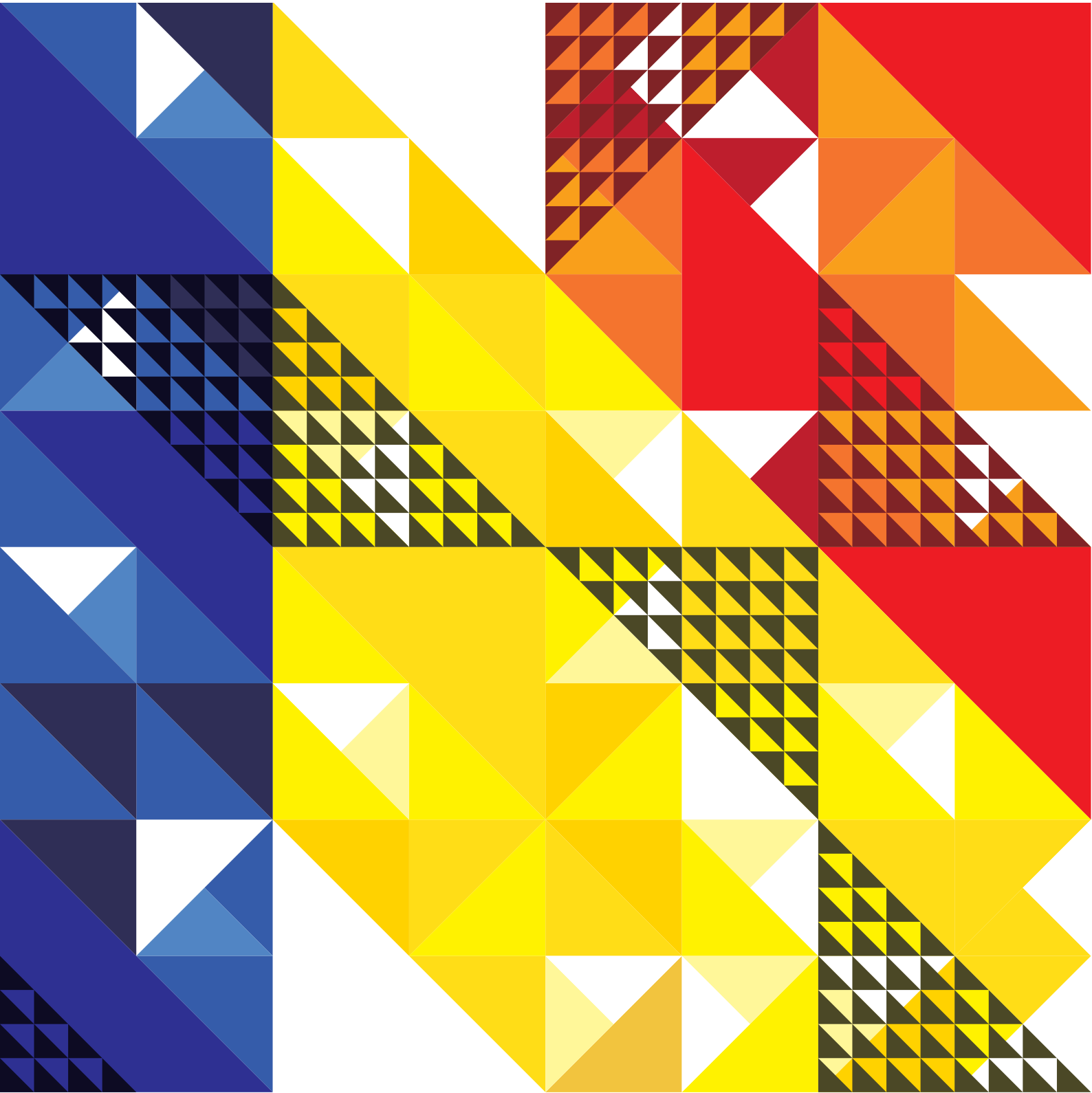




学生タウンなごや推進ビジョン(概要版)

平成28年3月 名古屋市

1 学生を取り巻くなごやの現状

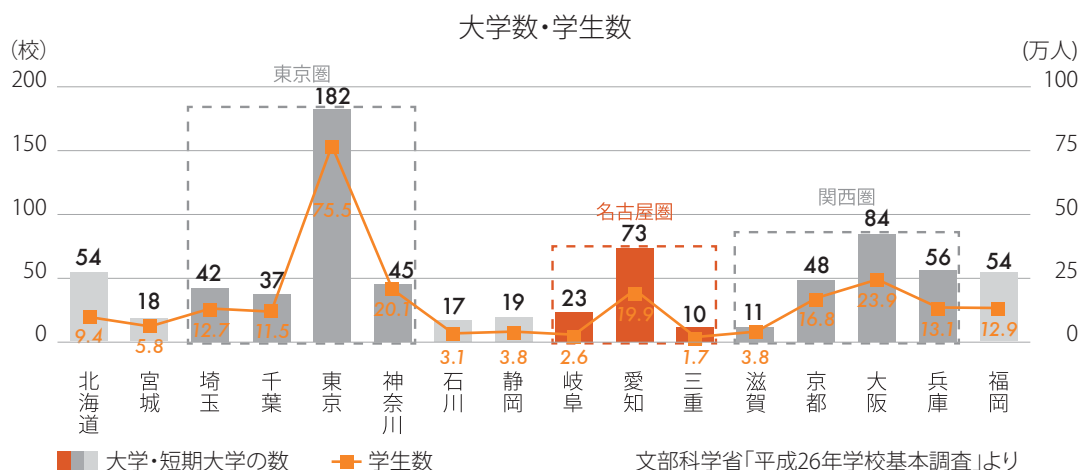


翔太さん、ゼミの課題で調べたんだけど、
この地域にはたくさんの大学や短期大学があるって知ってた？

そうなの明日香さん？
僕はずっと地元にいるから、大学や短期大学が多いとか
少ないとか意識したこともなかったなあ。



下の棒グラフを見てごらん。
名古屋圏には100を超える大学や短期大学があるんだよ。



愛知県だけでも大阪府に匹敵するくらいの大学・短期大学が
集積しているんだね！それじゃ学生もたくさんいるのかな？

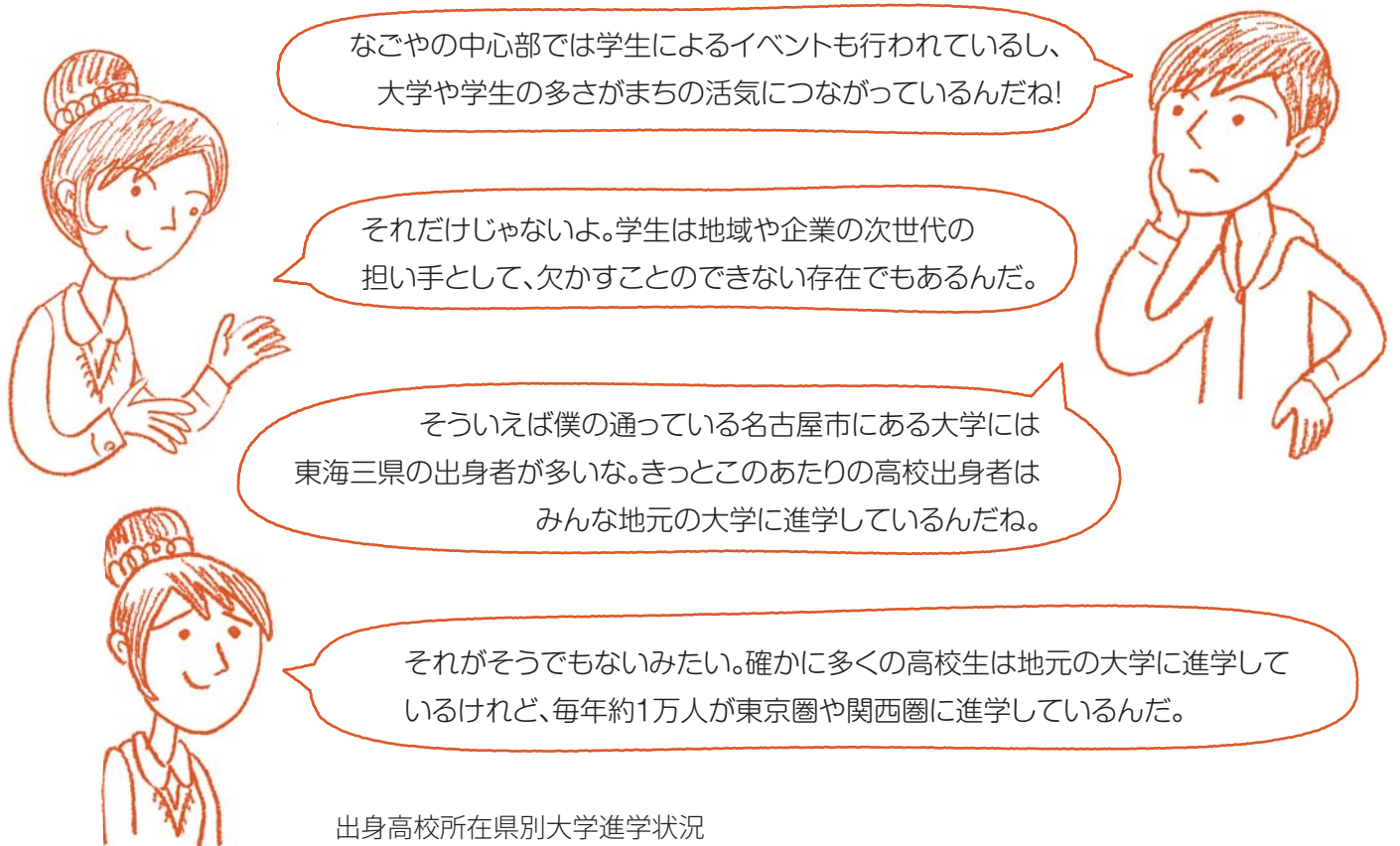
学生もたくさんいるよ。特に愛知県には
約20万人もの学生がいて、その規模は全国でも有数だよ。



「学生タウンなごや推進ビジョン」ってなに？ なんてつくったの？

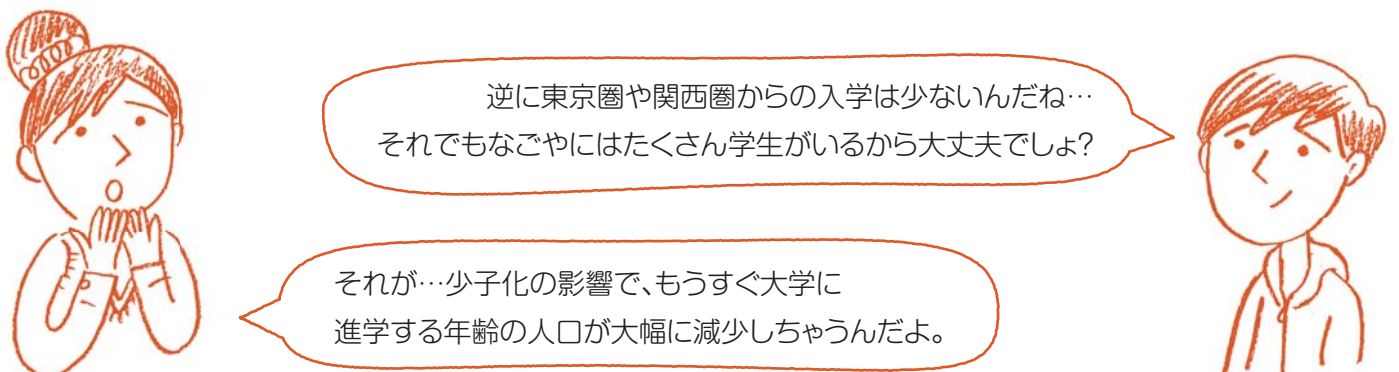
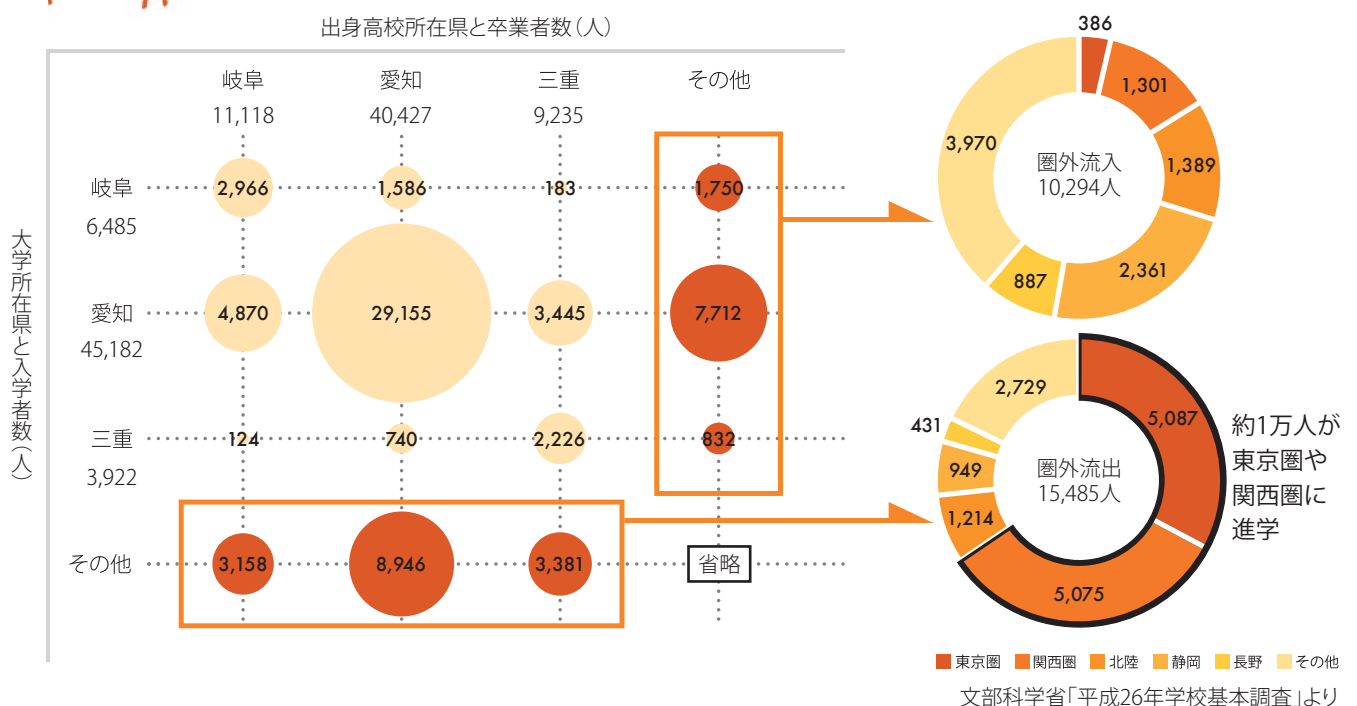
少子化の進行や都市間競争の激化による圏域外への流出などにより、今後学生数が減少することが懸念されています。学生数の減少は、経済規模の縮小や都市の活力や魅力の低下を招く恐れがあります。

こうした情勢のもと、大学（短期大学などを含む）、地域、企業、行政が連携し、長期的な展望をもって学生から選ばれるまちづくりをすすめるため、大学、地域、企業、行政が互いに共有し一体となって取り組む基本目標やその方向性を定めたものが、**学生タウンなごや推進ビジョン**です。

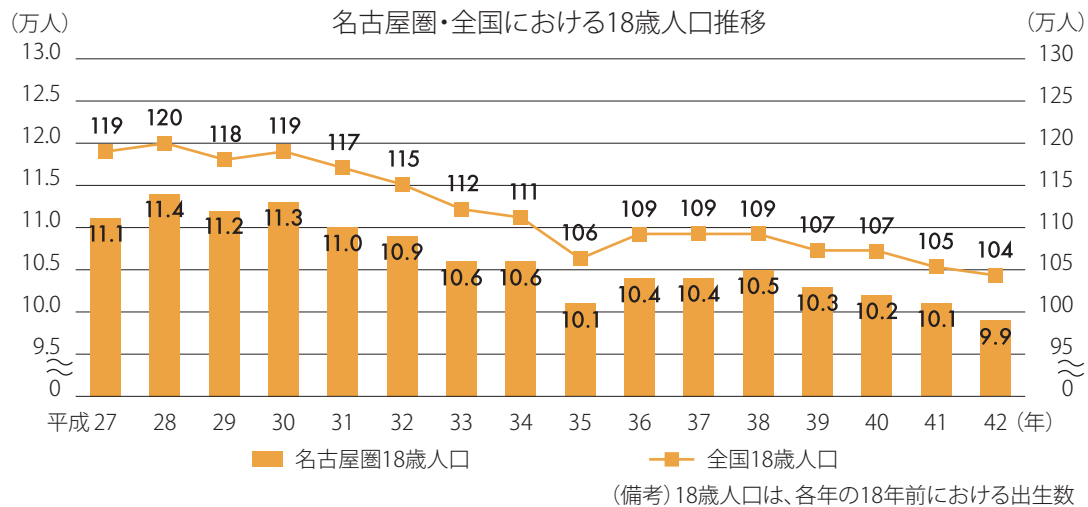


出身高校所在県別大学進学状況

出身高校所在県と卒業生数(人)



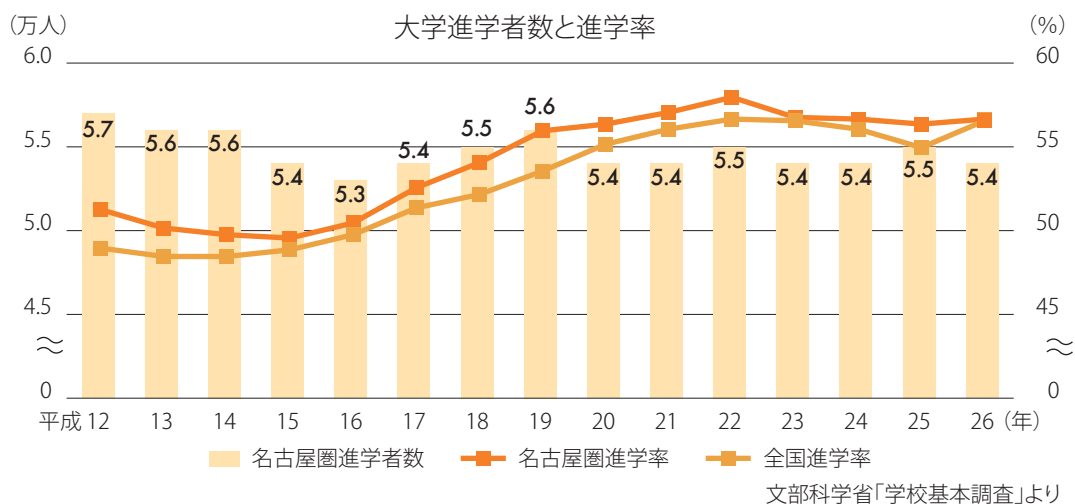
2 18歳人口の減少



今後15年で1割も少なくなるの!?
でも数十年前に比べて大学に進学する人の割合が増えて
いるって聞かし、全体の人数が減っても問題ないよね。



確かに進学率はこれまで伸び続けてきているね。
でもそれも数年前から横ばいが続いていて、これから先、
人口の減少スピードを上回る伸びが見込めるかどうか…

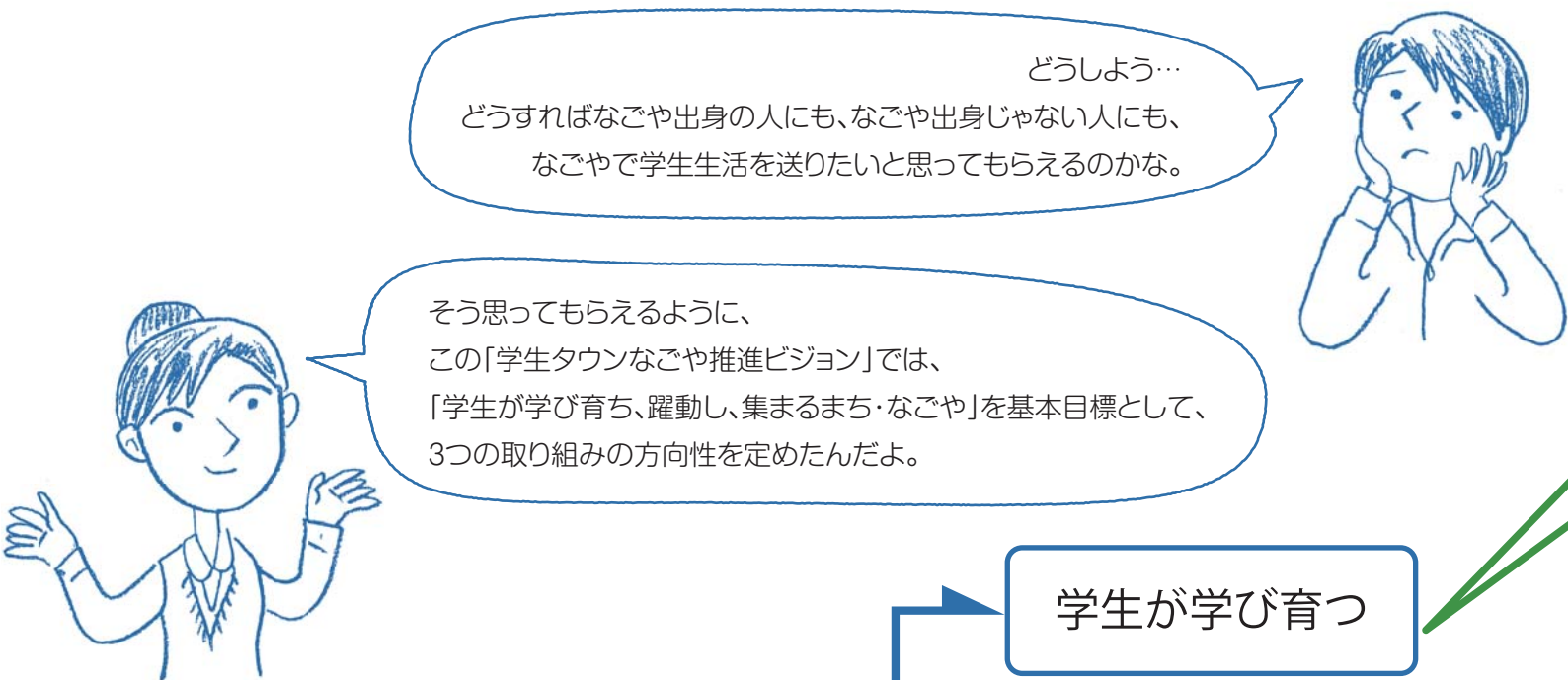


じゃあやっぱり15年後のなごやの学生数は
今より1割も少なくなるってことなの!?

東京圏や関西圏に進学する学生が今以上に増えて、
1割減にとどまらない可能性だってあるよ。

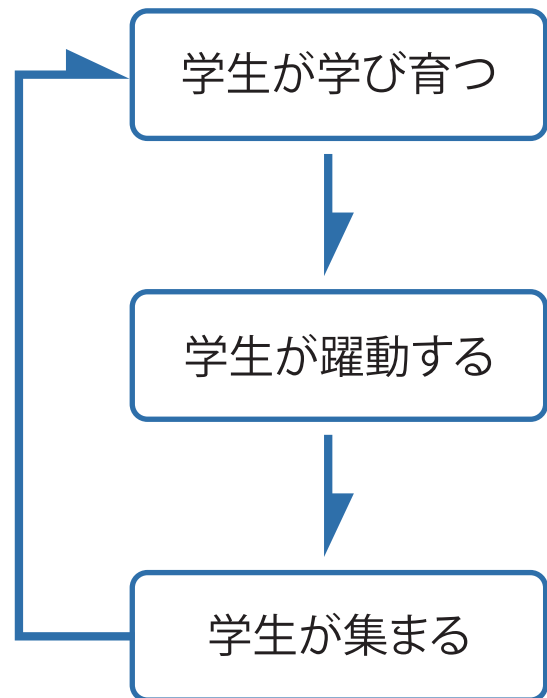


3 基本目標と方向性



基本目標

学生が学び育ち、躍動し、
集まるまち・なごや



学び育ち、躍動し、集まる。
このサイクルがどんどん回っていけば、
なごやは学生にとって魅力的なまちになるね!
でも具体的にどんな取り組みをするんだろう?



4 実現に向けた取り組み

方向性1 まち全体で学生を育みます

なごやにおける大学、地域、企業すべてをキャンパスとして自らの夢を実現できる環境を整え、ローカルな視点とグローバルな視点をあわせ持つ人材を育成します。

- 実践型インターンシップなどを通し、なごやを担う人材の育成につとめます
- ボランティア活動を通し、地域を担う人材の育成につとめます
- ボランティア活動が社会的に評価される仕組みをつくります

実践型インターンシップ

- ① テーマを示し募集
- ② 事前研修
(課題説明・アドバイス)
- ③ 振り返り研修



運営組織(名古屋市・大学・経済団体)

方向性2 学生の「おもしろい」を応援します

学生の活力が、まちの魅力として還流するように、学生の自由で自発的な活動などを応援します。

- 学生の共同活動拠点(たまり場)を設けるとともに、学生(大学)と、地域や企業をつなぐ仕組みをつくります
- 学生活動を支援する仕組みを設けます
- 大学の地域における研究活動を推進します

たまり場



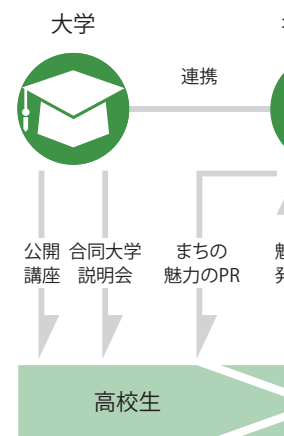
※ 学生や大学の活動

方向性3 学生にとっての魅力を高め広く発信します

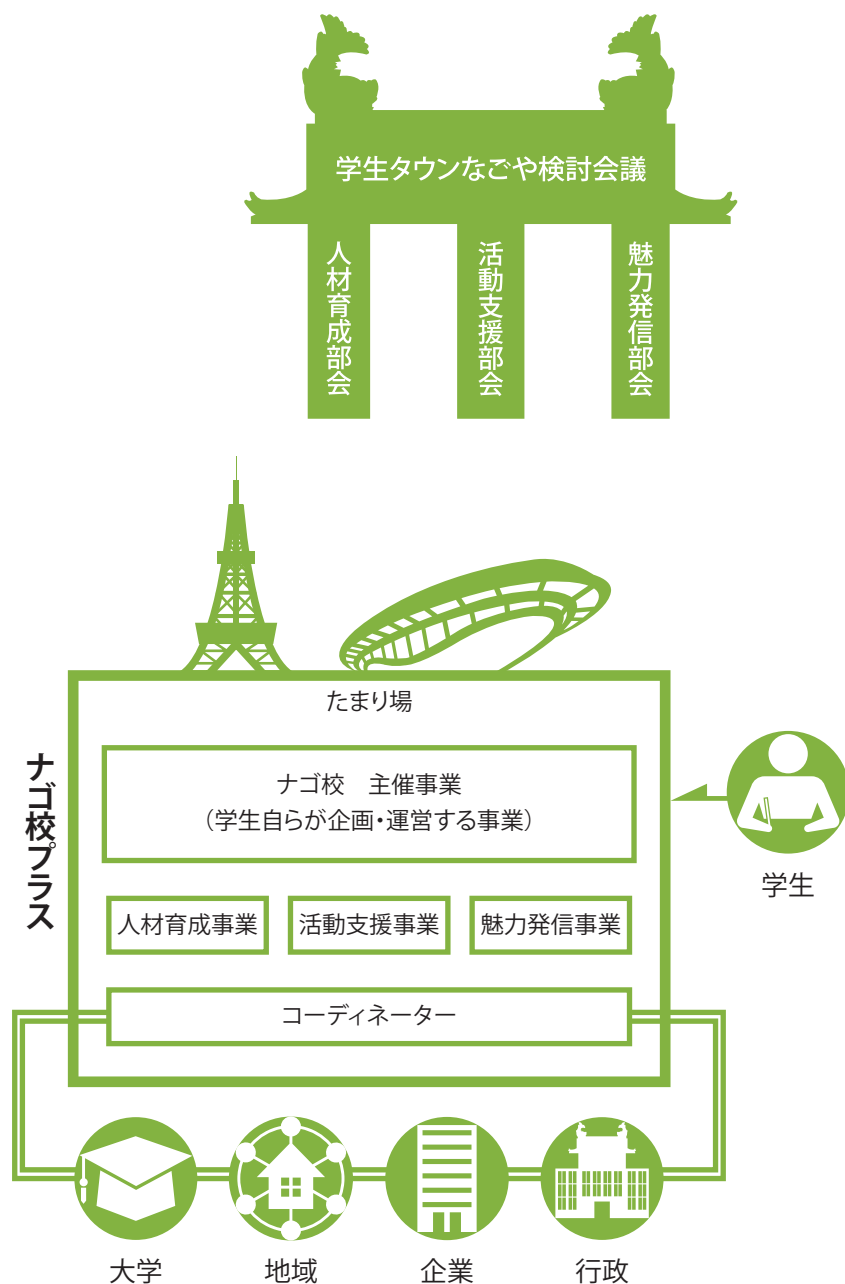
なごやで学びたい、学ばせたいと思われるよう、学生にとっての魅力を掘り起すとともに、なごやの魅力を広く発信します。

- 高校生からなごやで学びたいと思われるよう情報発信します
- なごやが好きな学生を増やすとともに学生の輪を広げます
- 学生が希望する働く場が見つかるようにします
- 大学やまちの魅力を、多様なメディアを活用して全国に発信します

魅力発信の仕組み



5 推進体制



「学生タウンなごや検討会議」(仮称)を大学などと共同して設け、取り組みごとの運営方法や推進体制について協議・検討を行います。

ナゴ校は、学生と社会をつなぐプラットフォームとして、平成24年に開校した仮想キャンパスです。

ナゴ校を通した柔軟で発想豊かな学生の活動が、地域の活性化や魅力づくりにつながっています。

そのナゴ校のプラットフォーム機能を高めるため、学生のたまり場とコーディネーターを設置するとともに、人材育成、活動支援、魅力発信メニューを創設します。

この新しいナゴ校(ナゴ校プラス)を機軸に、学生タウンなごやの推進をはかります。

学生タウンなごや推進ビジョン(概要版)

発行・編集	名古屋市総務局企画部大学政策室 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号 TEL 052-972-2217 FAX 052-972-4418
発行年月	平成28年3月
デザイン・制作	名古屋市立大学芸術工学部森研究室

この冊子は古紙パルプを含む再生紙を使用しています。